空き家にはたくさんの使い道があります！賢く空き家を活用！

空き家を相続すると、どう扱ったらいいのかわからず、困惑する人も多いでしょう。自分で住む家とは違いますから、それも当然のことです。空き家の使い道にはどんなものがあるのか、その中で一番賢明なのはどの活用方法なのかを検証してみましょう。空き家を上手に活用すれば、定期的に収入を得ることが可能になります。

□空き家を有効活用する

空き家は、そのまま空き家として管理するほかに、売却して利益を得たり、解体して更地にして売却したり、その土地で事業を始めるなど、いろんな使い道があります。また、空き家をそのまま生かして、民宿やシャアオフィス、シェアハウスとして利用することもできます。民宿は観光地や温泉、リゾート地などが近くにないと難しいですが、近年シェアオフィスやシェアハウスが増えているので、そういった活用法もおすすめです。

ただし、ビジネスに利用するためには、リフォームやリノベーションが必要になるため、初期費

用がかかります。このほか、空き家を利用して民泊を始めることも可能ですが、民泊は観光地が近かったり交通の便がよいなどの条件が必要です。

もちろん、これらのように空き家をビジネス利用するには、それなりのノウハウも必要ですから、簡単にできるわけではありません。では、これ以外に空き家の有効利用法はないのでしょうか。

□空き家を賃貸にする

空き家を賃貸にして貸し出せば、特別なノウハウも必要なく、将来にわたって定期的な家賃収入が確保できます。長年にわたって家賃収入が得られるのは大きな魅力ですが、空き家をうまく活用すればそれが可能なのです。空き家が古ければ、リフォームすることによって高い家賃で貸すことができます。

空き家を管理するには、年間50万円ほど維持費がかかるため大きな負担になりますが、賃貸で貸せばそれを遥かに上回る収入が期待できるのです。また、空き家を売却したり更地にすれば手元に残りませんが、賃貸で貸す分には家はそのまま残っています。

空き家が実家であれば、しばらく賃貸で貸して収入を得ながら、将来その家に住むことも可能です。このように、空き家を賃貸すれば、状況に合わせていろんな使い道を選択できるのでおすすめです。

□まとめ

空き家は売却したり更地にするほか、民宿やシェアオフィス、シェアハウス、民泊などに利用することができます。しかし、このように空き家をビジネスに利用するには、それなりにノウハウが必要です。その点、空き家を賃貸で貸すならノウハウも必要なく、スムーズに始めることができます。このように、空き家を賃貸すれば、将来にわたって定期的な家賃収入を確保することができるようになります。